

(検討資料)

第6期  
佐倉市高齢者福祉・介護計画（案）

平成26年11月  
佐倉市





# 第 1 部 計画の基本条件

---

# 第1章 総論

## 1. 計画策定の背景等

総務省統計局によると、平成25年10月1日現在、我が国の総人口に占める高齢者（65歳以上）人口の割合【高齢化率】は25%に達し、世界で最も高い水準となっています。

佐倉市においても高齢化の進展は著しく、介護保険制度が導入された平成12年度（平成13年3月末現在）では12.8%であった高齢化率が、平成25年度（平成26年3月末現在）には26.1%となっており、今後も高くなっていくことが予想されます。

一方、少子化も進行しており、国の人口動態統計によると、平成17年に初めて出生数が死亡数を下回り、人口減少社会が到来しました。

今後も少子・高齢化が進んでいくことが予想されていくなかで、佐倉市の人口は、緩やかに減少し、人口構成では64歳以下が減少し、65歳以上が増加していくものと推計しています。

さらに、2025年（平成37年）には、いわゆる団塊の世代が75歳以上になり、介護や支援のニーズの急増が予想されます。

このような人口構成の変化から、少子・高齢化と人口減少に対応した社会システムの構築が求められています。特に、介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるようにするため、既存の介護サービスのみならず、介護、医療、予防、生活支援、住まいの各種サービスを適切に組み合わせて提供される「地域包括ケアシステム」を構築することが、日常生活圏域において生活上の安全・安心・健康を確保していくためにも、極めて重要です。

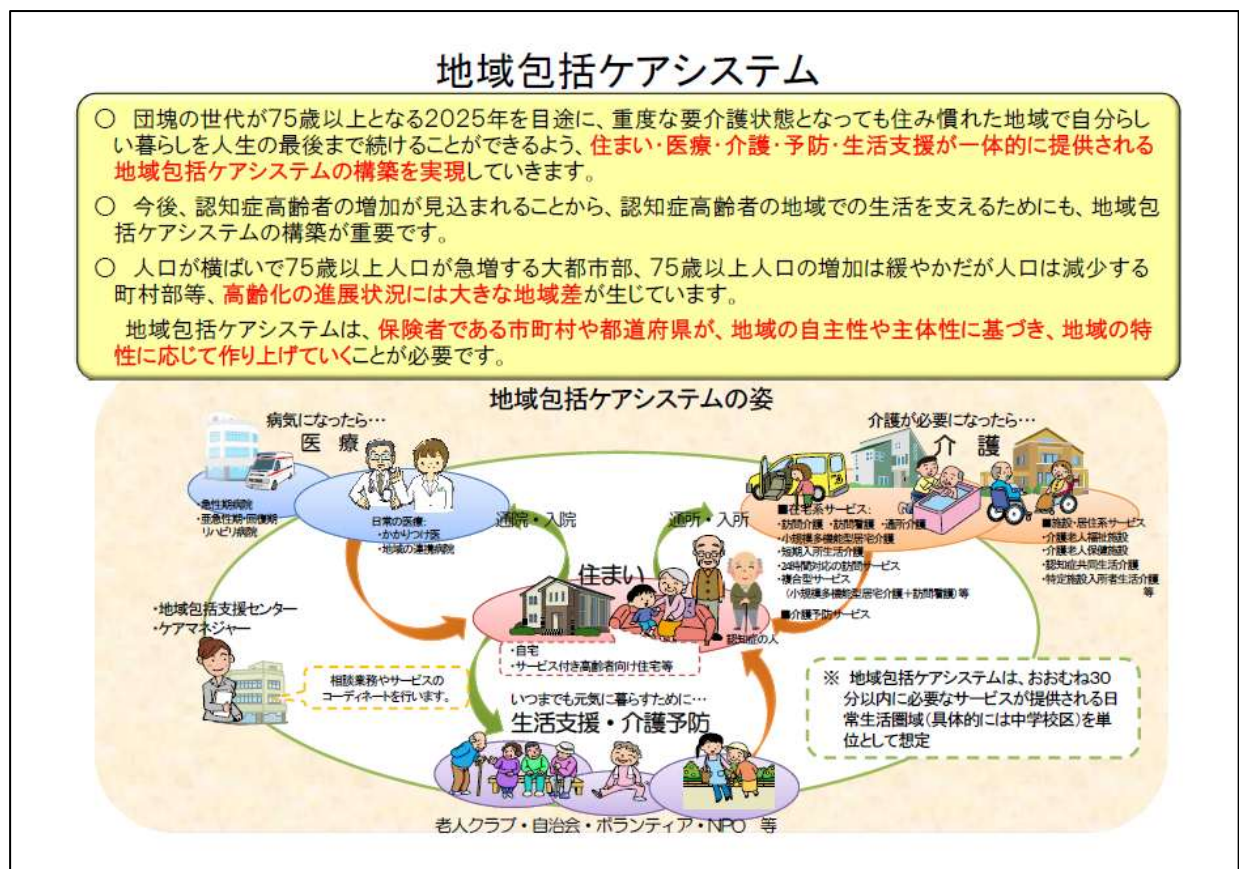
この度、「地域包括ケアシステム」の構築と介護保険制度の持続可能性の確保を基本的な考え方に掲げ、地域支援事業の充実、給付の重点化、費用負担の公平化などの実現に向けた方策として介護保険制度の改正が平成27年度に行われます。（別表「介護保険制度改正の概要」参照）

住み慣れた地域で暮らし続けるためには、地域基盤の強化も必要です。そのためには、自助・互助・共助・公助の適切な組み合わせに基づいた地域づくりを、市民の皆様とともに推進していく必要があります。

これらの取り組みを着実に進め、高齢者が健康で生きがいをもって生活を送ることができるよう、市民と行政がともに手を携え、高齢者の主体性を重視し、いきいきとした人生を支援していく体制づくりに向け、福祉・介護施策の充実と社会参加の機会の拡充、バリアフリーのまちづくりを進めていく必要があります。

「佐倉市高齢者福祉・介護計画」（以下、「計画」という。）は、福祉や介護の諸課題を、市民の皆様とともに解決し、誰もが暮らしやすい佐倉市へと向けた「高齢者のための総合的な計画」としての性格を持ち、福祉分野及び介護が必要になったときの介護保険サービスについて、今後3年間の計画をとりまとめたものです。

【地域包括ケアシステムのイメージ図】



出典：厚生労働省 HP より

## 《別表》介護保険制度改正の概要

第6期の介護保険制度改正では、地域包括ケアシステムの構築と介護保険制度の持続可能性の確保を基本的考え方とし、以下の事項について改正の方向性を示しています。

主な事項	見直しの方向性	
1 地域包括ケアシステムの構築に向けた地域支援事業の見直し	(1) 在宅医療・介護連携の推進	①在宅医療拠点機能の構築 ②地域支援事業の包括的支援事業に連携推進を追加
	(2) 認知症施策の推進	①地域支援事業の包括的支援事業に位置づけ
	(3) 地域ケア会議の充実	①ケアマネジメントの質の向上、地域課題の発見、資源開発や地域づくり ②地域支援事業の包括的支援事業に位置づけ
	(4) 生活支援・介護予防の充実	①担い手の養成及びネットワーク構築、コーディネーターの配置 ②居場所と出番づくり、住民運営の場の充実と地域づくり ③地域支援事業の包括的支援事業に位置づけ
	(5) 地域包括支援センターの機能強化	①役割に応じた人員体制の強化
2 サービスの効率化・重点化	(1) 介護予防給付(訪問・通所介護)の地域支援事業への移行	①平成29年4月までに総合事業を実施、予防給付の内、訪問介護・通所介護を平成29年度末までに地域支援事業に移行 ②新たな総合事業は介護予防・生活支援サービス事業と一般介護予防事業とし、内容は法に基づく指針でガイドラインを明示 ③単価及び利用料は市町村が設定、計画の中でサービス提供のあり方と費用を明記
	(2) 特別養護老人ホームの中重度者への重点化	①入所を要介護3以上に限定、要介護1・2は特例的(既入所者除く)
3 負担の公平化	(1) 低所得者の一号保険料の軽減強化	①給付費の5割に加えて別枠で公費を投入し、住民税非課税世帯の保険料の軽減割合を拡大
	(2) 一定以上所得者の利用者負担の見直し	①一定以上所得者のある利用者負担を1割から2割に引き上げ
	(3) 補足給付の見直し(資産等の勘案)	①低所得の施設利用者の食費・居住費を補填する補足給付の要件に資産等を追加 ・預貯金(単身1000万円、夫婦2000万円以上) ・世帯分離した配偶者の所得 ・非課税年金(遺族年金・障害年金)
4 その他	(1) 在宅サービスの見直し	①小規模通所介護を地域密着型サービスへ移行(平成28年4月1日までに施行、1年以内に条例化) ②事業者の事前登録(住宅改修) ③平成30年4月に居宅介護支援事業者の指定権限を市町村に移譲
	(2) 施設サービス等の見直し	①サービス付高齢者向け住宅を住所地特例の対象 ②医療保険制度も住所地特例の適用を検討
	(3) 介護サービス情報公開制度の見直し	①法定外の宿泊サービスの情報公表
	(4) 計画策定の考え方の見直し	①2025年を見据えた介護保険事業計画の策定(地域包括ケア計画、中長期的な推計)

## 2. 計画の位置づけと期間

### 1) 法的根拠

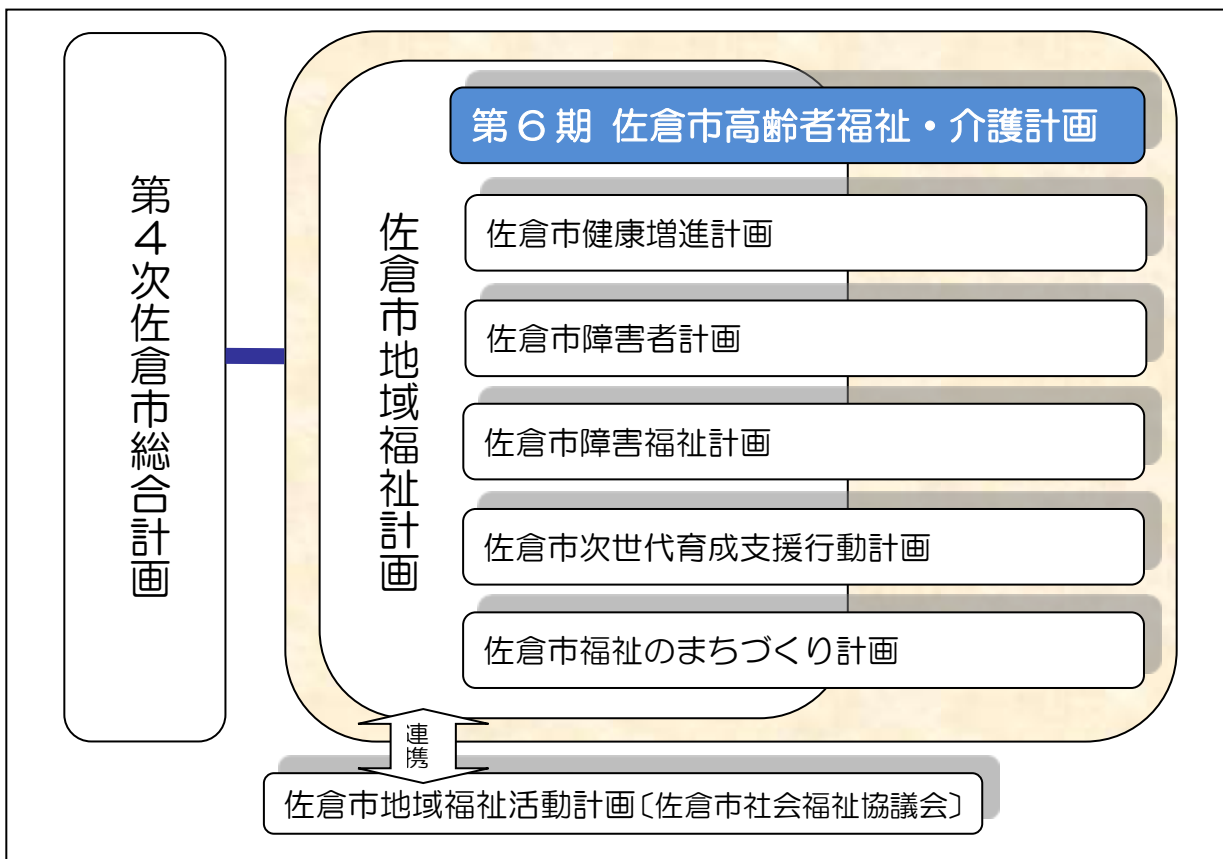
本計画は、老人福祉法第20条の8の規定に基づく「市町村老人福祉計画」、及び介護保険法第117条の規定に基づく「市町村介護保険事業計画」としての意義を有しています。なお、この2つの計画は、その内容において、密接な関連性を持つものであることから、一体のものとして策定し、高齢者に関する基本的な政策目標を設定するとともに、その実現に向けて取り組むべき施策全般を盛り込んだ内容になっています。

### 2) 計画の位置づけ

本計画は、「佐倉市総合計画」を基本とし、「佐倉市地域福祉計画」の一環として高齢者の福祉及び介護保険事業運営に関する本市の取り組みを示したものです。

また、老人福祉法、介護保険法などの法令や市の関連する個別計画との整合を図って策定しています。

図 1-1-1 第6期計画の位置づけ



### 3) 計画の期間

第6期の計画は、平成27年度（2015年度）から平成29年度（2017年度）までの3年間で計画期間としています。

なお、第6期の計画は、団塊の世代が75歳以上となる平成37年（2025年）を見据えたうえで、各種施策の展開を図っていく必要があります。

図1-1-2 第6期計画の計画期間

	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
第5期佐倉市 高齢者福祉・介 護計画	←————→								
第6期佐倉市 高齢者福祉・介 護計画			▲ 見直し	←————→					
第7期佐倉市 高齢者福祉・介 護計画						△ 見直し (予定)	←————→		

#### 介護保険制度

平成12年4月の介護保険法施行により、介護保険制度による介護サービスが始まりました。これは、「介護の社会化」とも呼ばれ、従来は家族・親族などが主に担ってきた高齢者の介護を、それぞれの高齢者の身体的な状況や介護環境に応じてプランを立て、介護事業者がサービスを提供するようになったものです。介護保険制度の導入によって、介護サービスは年々増加し、高齢者の生活には欠かせないものとなりました。

第6期計画も、引き続き改正介護保険法に則しています。

なお、介護保険法では3年ごとに計画の見直しをすることが定められており、平成29年度にも見直しがあるものと思われます。



## 第2章 計画策定の基本条件

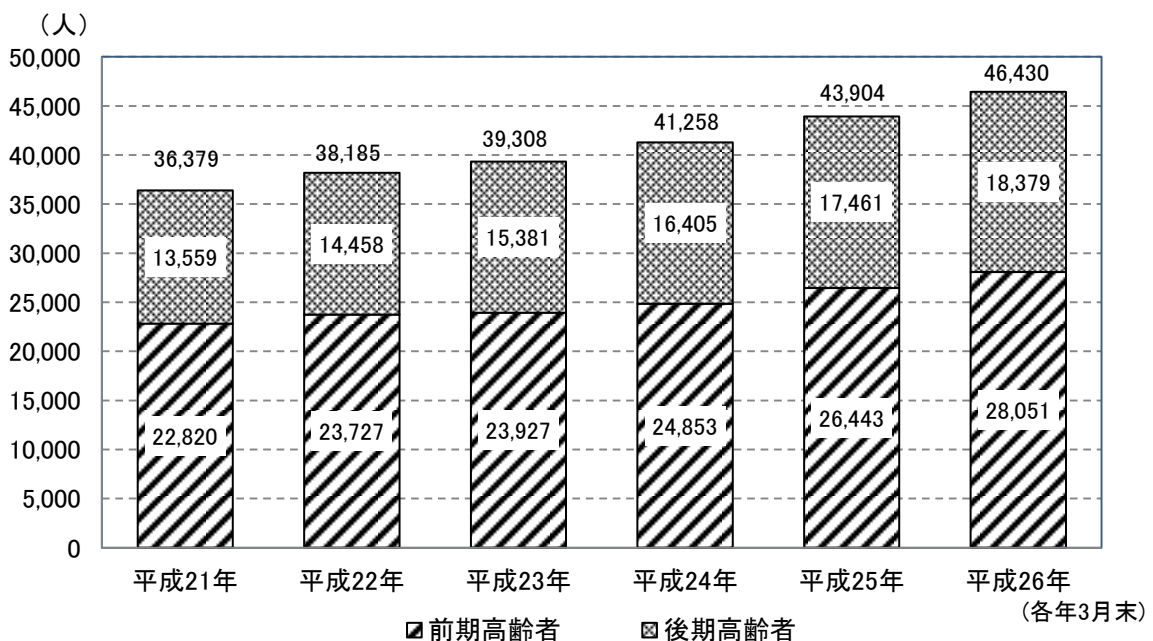
### 1. 高齢者等の状況

#### 1) 佐倉市の人口推移

本市の人口は、ほぼ横ばいで推移し、平成26年3月末現在（住民基本台帳）の人口数は、177,723人となっています。高齢者の人口数は、平成21年3月末現在30,911人から平成26年3月末現在39,997人へ約9,000人増加しています。

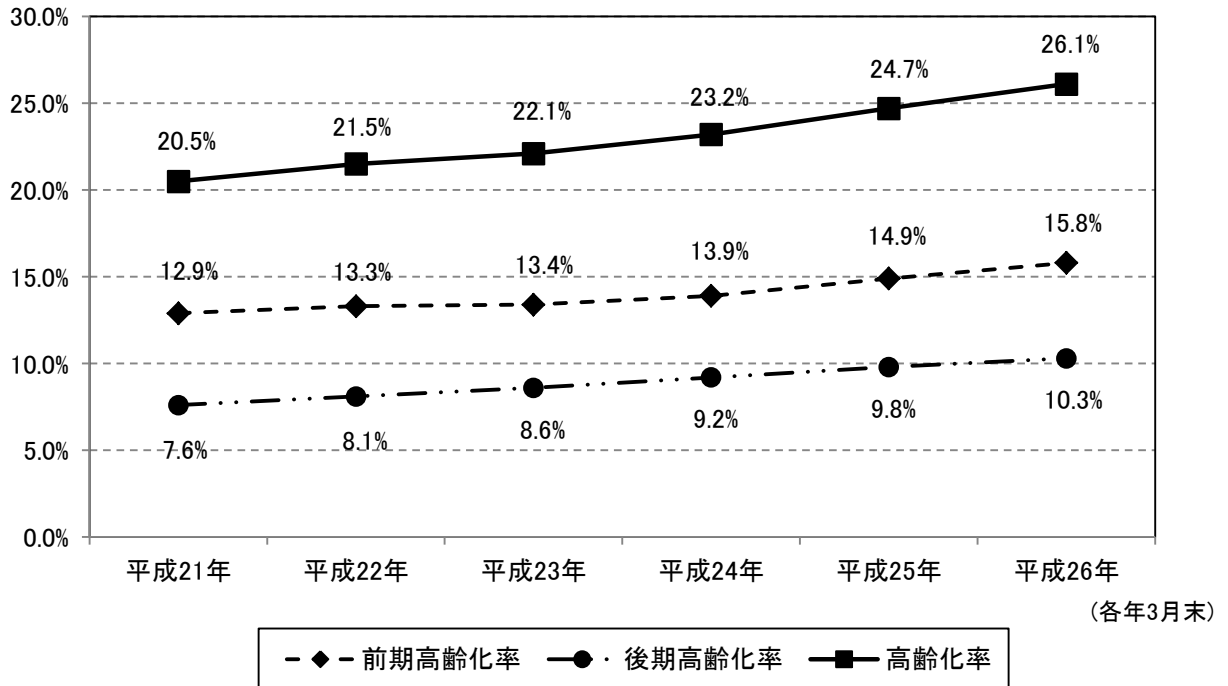
図1-2-1 人口等の推移・各年3月末現在

区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
総人口(A)	177,515人	177,928人	178,199人	178,187人	177,740人	177,723人
40歳未満	76,854人	75,629人	74,248人	72,573人	70,775人	69,099人
40-64歳	64,282人	64,114人	64,643人	64,356人	63,061人	62,194人
65-69歳	13,515人	14,058人	13,675人	13,758人	14,651人	15,147人
70-74歳	9,305人	9,669人	10,252人	11,095人	11,792人	12,904人
75-79歳	6,068人	6,558人	7,069人	7,602人	8,135人	8,552人
80-84歳	4,075人	4,259人	4,399人	4,629人	4,899人	5,154人
85-89歳	2,187人	2,334人	2,498人	2,666人	2,842人	2,996人
90歳以上	1,229人	1,307人	1,415人	1,508人	1,585人	1,677人
40歳以上	100,661人	102,299人	103,951人	105,614人	106,965人	108,624人
高齢者人口(B)	36,379人	38,185人	39,308人	41,258人	43,904人	46,430人
前期高齢者(C)	22,820人	23,727人	23,927人	24,853人	26,443人	28,051人
前期高齢化率(C)／(A)	12.9%	13.3%	13.4%	13.9%	14.9%	15.8%
後期高齢者(D)	13,559人	14,458人	15,381人	16,405人	17,461人	18,379人
後期高齢化率(D)／(A)	7.6%	8.1%	8.6%	9.2%	9.8%	10.3%
高齢化率(B)／(A)	20.5%	21.5%	22.1%	23.2%	24.7%	26.1%



本市の人口構成では、平成21年3月末に20.5%であった高齢化率が、平成26年3月末には26.1%に達しています。

図 1-2-2 高齢化率の推移・各年3月末現在



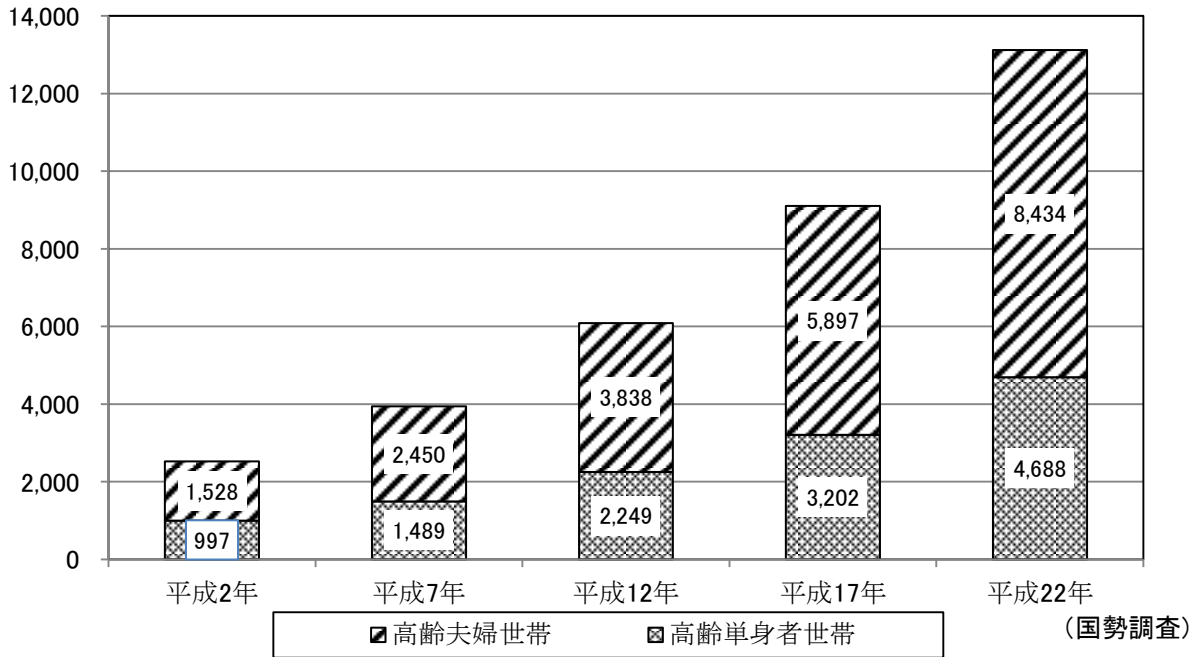
## 2) 高齢世帯等の状況

国勢調査結果に基づく本市の高齢世帯等の推移については、平成22年10月1日時点で、高齢単身世帯が4,688世帯、高齢夫婦世帯が8,434世帯となっており、20年前(平成2年10月1日)と比較すると、いずれも5倍程度に増加しています。

また、平成22年10月1日現在において、一般世帯に占める高齢世帯等の割合は、約20%となっており、5世帯に1世帯が高齢世帯等になっている状況です。

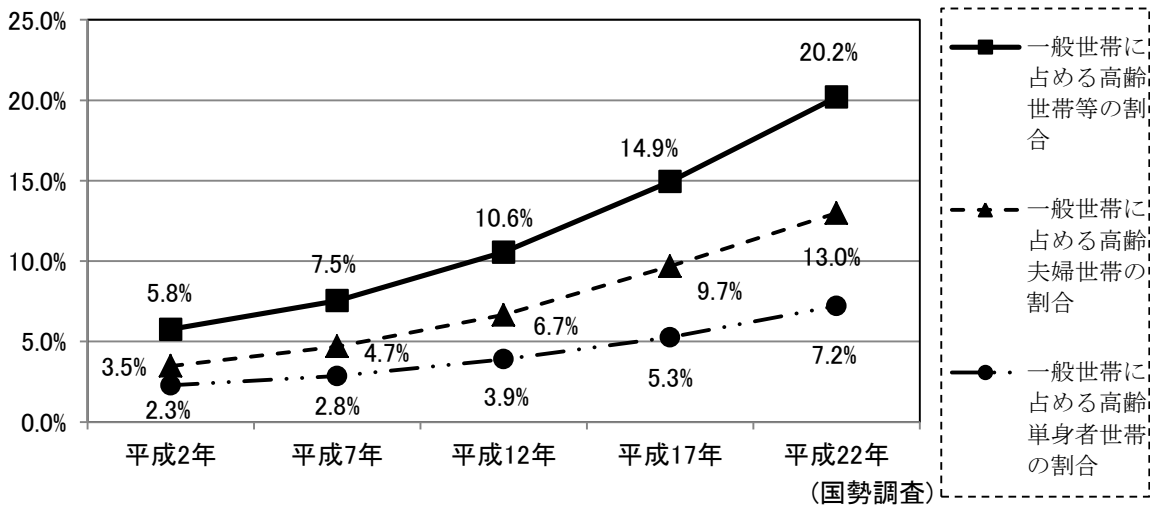
図 1-2-3 高齢世帯等の推移・各年10月1日現在

(世帯)



※高齢単身世帯とは65歳以上単身世帯  
 ※高齢夫婦世帯とは、夫65歳以上、妻60歳以上の1組のみの世帯  
 ※一般世帯とは、世帯総数から施設等世帯を差し引いた世帯

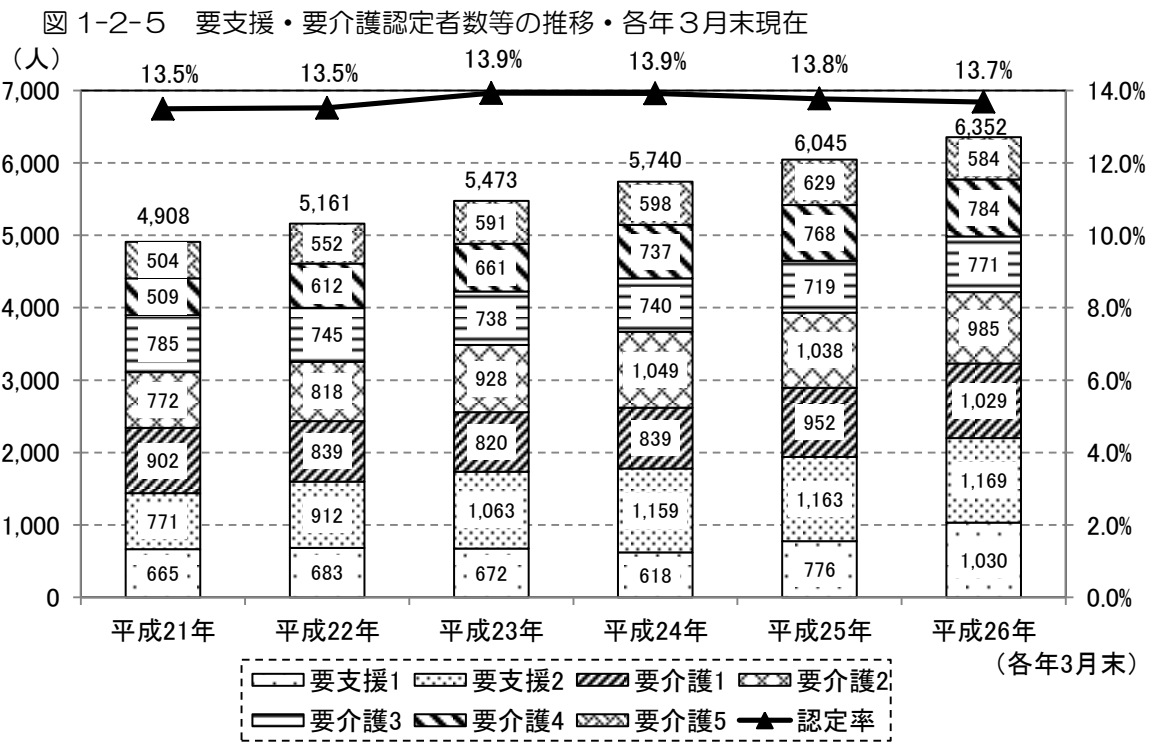
図 1-2-4 高齢世帯構成の推移・各年10月1日現在



## 2. 介護保険の状況

### 1) 要支援・要介護認定者数等の推移

本市の要支援・要介護認定者数の推移をみると、平成21年以降、1年間あたり、約300人ずつ増加している状況です。また、平成26年3月末現在、要支援・要介護認定を受けている人は6,352人で、そのうち65歳以上の第1号被保険者は、6,122人です。平成26年3月末現在の65歳以上人口が46,430人ですから、約13%の高齢者が要支援・要介護認定を受けていることになります。なお、平成26年3月末時点における、要支援・要介護認定者の内訳は、介護度が比較的軽い要支援1、要支援2、及び要介護1の合計が、3,228人(50.8%)、中程度の要介護2及び要介護3の合計が、1,756人(27.6%)、程度の重い要介護4及び要介護5の合計が、1,368人(21.5%)となっています。



区分	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年
65歳以上人口(A)	36,379人	38,185人	39,308人	41,258人	43,904人	46,430人
要支援1	665人	683人	672人	618人	776人	1,030人
要支援2	771人	912人	1,063人	1,159人	1,163人	1,169人
要介護1	902人	839人	820人	839人	952人	1,029人
要介護2	772人	818人	928人	1,049人	1,038人	985人
要介護3	785人	745人	738人	740人	719人	771人
要介護4	509人	612人	661人	737人	768人	784人
要介護5	504人	552人	591人	598人	629人	584人
要介護認定者(B)	4,908人	5,161人	5,473人	5,740人	6,045人	6,352人
認定率(B)/(A)	13.5%	13.5%	13.9%	13.9%	13.8%	13.7%

## 2) 介護サービスの受給状況

平成26年3月末現在、居宅介護（介護予防）サービスを受けている人数は4,023人で、要支援・要介護認定を受けている人の63.3%（受給率）となっており、特に要支援2、要介護1及び要介護2の割合が多く70%を超えています。

また、地域密着型（介護予防）サービスを受けている人数は275人で、受給率は4.3%です。さらに、施設介護サービスを受けている人数は978人で、受給率は15.4%ですが、要介護4の方では受給率が38.0%、要介護5の方では受給率が43.2%となっており、介護度が重くなるほど受給率が高くなっています。

図1-2-6 介護（予防）サービス受給状況・平成26年3月末現在

		要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計	
居宅介護(介護予防)サービス	受給者(A)	549人	825人	751人	763人	501人	380人	254人	4,023人	
	受給率(A)/(G)	53.3%	70.6%	73.0%	77.5%	65.0%	48.5%	43.5%	63.3%	
地域密着型(介護予防)サービス	受給者(B)	2人	1人	67人	78人	46人	35人	46人	275人	
	受給率(B)/(G)	0.2%	0.1%	6.5%	7.9%	6.0%	4.5%	7.9%	4.3%	
施設介護サービス	介護老人福祉施設	受給者(C)	0人	0人	31人	76人	143人	191人	162人	603人
		受給率(C)/(G)	0.0%	0.0%	3.0%	7.7%	18.5%	24.4%	27.7%	9.5%
	介護老人保健施設	受給者(D)	0人	0人	37人	66人	68人	93人	75人	339人
		受給率(D)/(G)	0.0%	0.0%	3.6%	6.7%	8.8%	11.9%	12.8%	5.3%
	介護療養型医療施設	受給者(E)	0人	0人	1人	0人	6人	14人	15人	36人
		受給率(E)/(G)	0.0%	0.0%	0.1%	0.0%	0.8%	1.8%	2.6%	0.6%
	小計	受給者(F)	0人	0人	69人	142人	217人	298人	252人	978人
		受給率(F)/(G)	0.0%	0.0%	6.7%	14.4%	28.1%	38.0%	43.2%	15.4%
要介護(要支援)認定者(G)		1,030人	1,169人	1,029人	985人	771人	784人	584人	6,352人	
介護サービス未利用者 G-(A+B+F)		479人	343人	142人	2人	7人	71人	32人	1,076人	

### 地域密着型サービスとは

地域密着型サービスとは、高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるようにとの観点から、平成18年4月の改正介護保険の施行により導入され、その後の法改正を経て、平成24年度からは、以下に挙げる8種類のサービスとなります。

- ① 定期巡回・随時対応型訪問介護看護【新規】
- ② 夜間対応型訪問介護
- ③ 小規模多機能型居宅介護
- ④ 認知症対応型通所介護
- ⑤ 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
- ⑥ 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護  
（定員29人以下の特別養護老人ホーム）
- ⑦ 地域密着型特定施設入居者生活介護  
（定員29人以下の介護専用型特定施設）
- ⑧ 複合型サービス

### 3. 高齢者の生活実態や制度に対する意向等について

#### 1) 実態調査（アンケート調査）の実施概要

市では、第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定〔第5期計画の見直し〕のための基礎資料とすることを目的とし、高齢者の実態を把握して計画に反映させるために、一般高齢者、介護サービス利用者をはじめとする市民や、介護保険サービス提供事業者などを対象に、アンケート方式による実態調査を実施しました。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査

調査名	①一般高齢者調査	②介護保険サービス利用者調査	③介護保険サービス未利用者調査
調査方法	無作為抽出、郵送配布、郵送回収		
調査対象者	・平成26年6月末現在、佐倉市にお住まいの要支援・要介護認定を受けていない65歳以上の方	・平成26年6月末現在、佐倉市にお住まいの要支援・要介護認定を受けた方で、介護保険サービスを利用された方	・平成26年6月末現在、佐倉市にお住まいの要支援・要介護認定を受けた方で、平成26年4月～6月に介護保険サービスを利用されていない方
調査期間	平成26年7月11日(金)～平成26年7月31日(木)	平成26年7月11日(金)～平成26年7月31日(木)	平成26年7月11日(金)～平成26年7月31日(木)
配布数及び有効回収率	・配布数：1,000 ・有効回収数：588 ・有効回収率：58.8%	・配布数：1,000 ・有効回収数：510 ・有効回収率：51.0%	・配布数：100 ・有効回収数：56 ・有効回収率：56.0%

調査名	④特別養護老人ホーム入所希望者調査	⑤介護保険サービス提供事業者調査	⑥地域包括支援センター・居宅介護支援事業所調査
調査方法	無作為抽出、郵送配布、郵送回収	全数調査、郵送配布、郵送回収	
調査対象者	・平成26年8月末現在、佐倉市にお住まいの要介護認定を受けた方で、特別養護老人ホームへ入所希望をされている方	・平成26年6月末現在、介護保険サービスを提供している市内の事業者	・平成26年6月末現在、要支援者のケアマネジメント業務を行う、地域包括支援センターの職員及び指定居宅介護支援事業所の職員
調査期間	平成26年9月12日(金)～平成26年9月30日(火)	平成26年7月15日(火)～平成26年8月15日(金)	平成26年7月15日(火)～平成26年8月18日(月)
配布数及び有効回収率	・配布数：100 ・有効回収数：46 ・有効回収率：46.0%	・配布数：211 ・有効回収数：167 ・有効回収率：79.1%	・配布数：55(事業所) ・有効回収数：101(名) ・有効回収率：—

## 2) 実態調査（アンケート調査）結果から見えてきたこと

実態調査（アンケート調査）結果から、以下の点が明らかになりました。

**●ポイント1：介護保険料の負担と介護保険サービスについて**

一般高齢者、介護保険サービス利用者及び介護保険サービス未利用者を対象に、現在支払っている介護保険料について、家計への影響がどれくらいであるのか意向を伺ったところ、「大きい」と「やや大きい」と回答された方の割合が、高い結果となりました。

また、保険料の負担と介護保険サービスの充実度について意向を伺ったところ、「保険料があまり高くないように保険で提供するサービスを限定する」と回答された方の割合が、いずれも高い結果となりました。

さらに、一般高齢者、介護保険サービス利用者及び特別養護老人ホーム入所希望者を対象に、特別養護老人ホームの整備に関する意向を伺ったところ、「保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい」と回答された方の割合が、いずれも高い結果となりました。

このようなことから、今後、特別養護老人ホームの整備を含む、介護保険サービスの給付に関しては、保険料とのバランスに留意しつつ、慎重に推進していく必要があります。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（個別結果）

質問内容	アンケート調査名					
	一般高齢者調査		介護保険サービス利用者調査		介護保険サービス未利用者調査	
項目名	集計値	構成比	集計値	構成比	集計値	構成比
問. 介護保険料の家計への影響は？ 【1つのみ回答】						
全体	588	100.0%	510	100.0%	56	100.0%
大きい	240	40.8%	125	24.5%	23	41.1%
やや大きい	136	23.1%	121	23.7%	17	30.4%
適当である	105	17.9%	158	31.0%	8	14.3%
やや小さい	2	0.3%	2	0.4%	1	1.8%
小さい	10	1.7%	12	2.4%	0	0.0%
わからない	54	9.2%	61	12.0%	3	5.4%
無回答	41	7.0%	31	6.1%	4	7.1%
問. 介護保険料の負担と介護保険サービスについてどう思うか？【1つのみ回答】						
全体	588	100.0%	510	100.0%	56	100.0%
保険料が高くなっても、できるだけ多く介護サービスの充実を望む	70	11.9%	63	12.4%	2	3.6%
保険料があまり高くないように、保険提供サービスを限定する	269	45.7%	218	42.7%	28	50.0%
現状のままだがよい	57	9.7%	127	24.9%	10	17.9%
介護サービスは、保険提供を受けず家族介護や個人費用で賄えばよい	16	2.7%	2	0.4%	2	3.6%
その他	20	3.4%	20	3.9%	3	5.4%
わからない	107	18.2%	49	9.6%	5	8.9%
無回答	49	8.3%	31	6.1%	6	10.7%

## 第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（個別結果）

質問内容	アンケート調査名					
	一般高齢者調査		介護保険サービス利用者調査		特別養護老人ホーム入所希望者調査	
問. 特別養護老人ホームの整備に関する考え方は？【1つのみ回答】	集計値	構成比	集計値	構成比	集計値	構成比
項目名						
全体	588	100.0%	510	100.0%	46	100.0%
保険料は高くなってもいいから、施設を増やしてほしい	58	9.9%	57	11.2%	6	13.0%
保険料とのバランスをとって、必要最小限だけ施設を増やしてほしい	340	57.8%	303	59.4%	33	71.7%
保険料が高くなるのは困るから、施設はあまり増やさないでほしい	38	6.5%	19	3.7%	3	6.5%
わからない	109	18.5%	83	16.3%	2	4.3%
無回答	43	7.3%	48	9.4%	2	4.3%

質問内容	アンケート調査名			
	一般高齢者調査		介護保険サービス利用者調査	
問. 施設に入所する場合に負担できる支払額は？【1つのみ回答】	集計値	構成比	集計値	構成比
項目名				
全体	588	100.0%	510	100.0%
6万円以下	90	15.3%	122	23.9%
10万円以下	189	32.1%	165	32.4%
15万円以下	124	21.1%	105	20.6%
20万円以下	43	7.3%	27	5.3%
20万円を超えてもよい	6	1.0%	4	0.8%
わからない	103	17.5%	51	10.0%
無回答	33	5.6%	36	7.1%



**●ポイント2：介護保険サービスの満足度について**

介護保険サービス利用者を対象に、介護保険サービスの計画（ケアプラン）の内容について、満足度を伺ったところ、「満足している」と「おおむね満足している」と回答された方の割合の合計は、80.6%でした。また、現在利用している介護保険サービスの内容について、満足度を伺ったところ、いずれのサービスにおいても、「満足している」と「おおむね満足している」と回答された方の割合の合計は、おおむね8割を超える結果となりました。

このようなことから、現在の介護保険サービスについては、利用者のほとんどの方が満足しているといえます。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（介護保険サービス利用者調査の個別結果）

質問内容		アンケート調査名						
問. 介護サービスの計画（ケアプラン）の内容の満足度は？【1つのみ回答】		介護保険サービス利用者調査						
		全体	満足	おおむね満足	やや不満	不満	どちらともいえない	無回答
介護サービスの計画（ケアプラン）	集計値	510	185	226	26	7	38	28
	構成比	100.0%	36.3%	44.3%	5.1%	1.4%	7.5%	5.5%

問. 利用したサービスの満足度は？【利用済サービスに満足度を1つのみ回答】		全体	満足	やや満足	やや不満	不満	無回答	
サ ー ビ ス の 種 類	訪問介護（ホームヘルプサービス）	集計値	116	61	43	5	2	5
		構成比	100.0%	52.6%	37.1%	4.3%	1.7%	4.3%
	夜間対応型訪問介護	集計値	13	6	4	2	—	1
		構成比	100.0%	46.2%	30.8%	15.4%	—	7.7%
	訪問入浴介護	集計値	32	23	7	2	—	—
		構成比	100.0%	71.9%	21.9%	6.3%	—	—
	訪問看護	集計値	30	19	5	1	2	3
		構成比	100.0%	63.3%	16.7%	3.3%	6.7%	10.0%
	訪問リハビリテーション	集計値	24	13	6	4	1	—
		構成比	100.0%	54.2%	25.0%	16.7%	4.2%	—
	居宅療養管理指導	集計値	17	12	4	—	1	—
		構成比	100.0%	70.6%	23.5%	—	5.9%	—
	通所介護（デイサービス）	集計値	256	145	85	17	1	8
		構成比	100.0%	56.6%	33.2%	6.6%	0.4%	3.1%
	通所リハビリテーション（デイケア）	集計値	90	50	31	6	2	1
		構成比	100.0%	55.6%	34.4%	6.7%	2.2%	1.1%
	認知症対応型通所介護	集計値	13	9	4	—	—	—
		構成比	100.0%	69.2%	30.8%	—	—	—
	短期入所生活介護（ショートステイ）	集計値	91	43	33	12	2	1
		構成比	100.0%	47.3%	36.3%	13.2%	2.2%	1.1%
短期入所療養介護（医療ショートステイ）	集計値	6	4	2	—	—	—	
	構成比	100.0%	66.7%	33.3%	—	—	—	
福祉用具貸与	集計値	185	137	34	7	—	7	
	構成比	100.0%	74.1%	18.4%	3.8%	—	3.8%	
福祉用具購入費の支給	集計値	91	62	20	3	2	4	
	構成比	100.0%	68.1%	22.0%	3.3%	2.2%	4.4%	
住宅改修費の支給	集計値	115	69	34	1	3	8	
	構成比	100.0%	60.0%	29.6%	0.9%	2.6%	7.0%	
小規模多機能型居宅介護	集計値	8	4	3	—	—	1	
	構成比	100.0%	50.0%	37.5%	—	—	12.5%	
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	集計値	8	5	2	—	—	1	
	構成比	100.0%	62.5%	25.0%	—	—	12.5%	

**●ポイント3：介護保険サービスの利用状況について**

介護保険サービス利用者を対象に、介護保険サービスの利用状況について伺ったところ、「通所介護(デイサービス)」が50.2%で最も多く、次いで「福祉用具貸与」が36.3%という結果になりました。また、特別養護老人ホーム入所希望者を対象に介護保険サービスの利用状況について伺ったところ、「短期入所(療養含む)」が31.3%で最も多く、次いで「通所介護(通所リハ含む)」が28.4%という結果になりました。

一方、いずれの調査においても、小規模多機能型居宅介護と定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用割合が低い結果となりました。

このようなことから、今後は、小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスについて、啓発等に努めていく必要があります。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（個別結果）

質問内容		アンケート調査名			
		介護保険サービス利用者調査		特別養護老人ホーム入所希望者調査	
		集計値	構成比	集計値	構成比
問. 介護保険サービスの利用状況は？ 【複数回答】					
全体		510	100.0%	29	100.0%
サービスの種類	訪問介護（ホームヘルプサービス）	116	22.7%	6	20.7%
	夜間対応型訪問介護	13	2.5%	0	0.0%
	訪問入浴介護	32	6.3%	3	10.3%
	訪問看護	30	5.9%	3	10.3%
	訪問リハビリテーション	24	4.7%	2	6.9%
	居宅療養管理指導	17	3.3%	7	24.1%
	通所介護（デイサービス）	256	50.2%	19	65.5%
	通所リハビリテーション（デイケア）	90	17.6%		
	認知症対応型通所介護	13	2.5%	21	72.4%
	短期入所生活介護（ショートステイ）	91	17.8%		
	短期入所療養介護（医療ショートステイ）	6	1.2%		
	福祉用具貸与	185	36.3%		
	福祉用具購入費の支給	91	17.8%		
	住宅改修費の支給	115	22.5%		
	小規模多機能型居宅介護	8	1.6%	0	0.0%
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	8	1.6%	1	3.4%
	介護サービスを受けていない	—	—	1	3.4%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	

(注)複数回答の場合、回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、各選択肢の割合の合計が100%を超過しています。

**●ポイント4：自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが必要か**

自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが必要であるかについて伺ったところ、一般高齢者調査では、「住み続けられる住まいがある」が70.1%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が61.1%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が42.5%、「身近に利用できる医療機関がある」が39.1%、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が37.1%という結果になりました。

また、介護保険サービス利用者調査では、「住み続けられる住まいがある」が70.0%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が64.9%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」が55.3%、「身近に利用できる医療機関がある」が54.9%、「必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある」が52.0%という結果になりました。

さらに、介護サービス未利用者調査では、「住み続けられる住まいがある」が58.9%で最も多く、次いで「家族が同居または近くにいる」が55.4%、「日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある」と「身近に利用できる医療機関がある」が共に28.6%という結果になりました。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（個別結果）

質問内容	アンケート調査名					
	一般高齢者調査		介護保険サービス利用者調査		介護保険サービス未利用者調査	
問. 自宅で暮らし続けるためには、どのようなことが必要であると思うか 【複数回答】	集計値	構成比	集計値	構成比	集計値	構成比
全体	588	100.0%	510	100.0%	56	100.0%
住み続けられる住まいがある	412	70.1%	357	70.0%	33	58.9%
家族が同居または近くにいる	359	61.1%	331	64.9%	31	55.4%
見守ってくれる友人・知人が近くにいる	168	28.6%	149	29.2%	7	12.5%
日中に訪問介護や通所サービスなど、普段から利用できる介護サービスがある	250	42.5%	282	55.3%	16	28.6%
必要に応じて、通ったり、宿泊することができるような介護サービスがある	218	37.1%	265	52.0%	11	19.6%
入浴のみ、食事のみ、リハビリのみなど、短時間の通所サービスが受けられる	188	32.0%	207	40.6%	9	16.1%
介護者の入院など緊急時に入所可能な短時間入所サービスが利用できる	209	35.5%	262	51.4%	15	26.8%
夜間にも訪問介護や訪問看護など、訪問してくれる介護サービスがある	169	28.7%	181	35.5%	8	14.3%
栄養の改善を目的として、配食を行う事業がある			140	27.5%		
身近に利用できる医療機関がある	230	39.1%	280	54.9%	16	28.6%
自宅に医師が訪問して診療してくれる	192	32.7%	238	46.7%	15	26.8%
自宅に歯科医師が訪問して診療してくれる	92	15.6%	136	26.7%	9	16.1%
いつでも利用（入所）できる施設が近くにある	187	31.8%	257	50.4%	13	23.2%
その他	9	1.5%	10	2.0%	1	1.8%
わからない	24	4.1%	9	1.8%	8	14.3%
無回答	36	6.1%	25	4.9%	5	8.9%

**●ポイント5：介護が必要となった場合の介護を受ける場所の意向について**

一般高齢者を対象に、本人に介護が必要となった場合にどこで介護を受けたいか伺ったところ、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が38.4%で最も多く、次いで「わからない」が21.4%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム）」に入りたい」が13.6%という結果になりました。

また、家族に介護が必要となった場合にどこで介護を受けたいか伺ったところ、「自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい」が37.6%で最も多く、次いで「わからない」が18.9%、「介護保険施設（特別養護老人ホーム）」に入りたい」が13.8%という結果になりました。

さらに、特別養護老人ホーム入所希望者を対象に、特別養護老人ホームへの入所についてどのように考えているか伺ったところ、本人、介護者共に「在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所する（させる）しかない」の回答割合が最も高く、次いで、「在宅介護を受けながら暮らしたい（できるだけ長く自宅で暮らしてもらいたい）」という結果になりました。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（一般高齢者調査・個別結果）

質問内容	アンケート調査名			
	一般高齢者調査 (本人に介護が必要となった場合)		一般高齢者調査 (家族に介護が必要となった場合)	
項目名	集計値	構成比	集計値	構成比
問. 介護が必要となった場合、どこで介護を受けたいと思うか？ 【1つのみ回答】				
全体	588	100.0%	588	100.0%
自宅や親族の家など、在宅で介護を受けたい	226	38.4%	221	37.6%
主に介護サービスを利用して、高齢者向け住宅に住み替えて暮らしたい	63	10.7%	64	10.9%
数人で暮らせる、家庭的な介護付きホーム（施設）で暮らしたい	43	7.3%	27	4.6%
介護保険施設（特別養護老人ホーム）に入りたい	80	13.6%	81	13.8%
その他	18	3.1%	16	2.7%
わからない	126	21.4%	111	18.9%
無回答	32	5.4%	68	11.6%

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（特別養護老人ホーム入所希望者調査・個別結果）

質問内容	アンケート調査名			
	特別養護老人ホーム入所希望者調査（本人の意向）		特別養護老人ホーム入所希望者調査（介護者の意向）	
項目名	集計値	構成比	集計値	構成比
問. 特別養護老人ホームへの入所について、どのように考えているか？ 【1つのみ回答】				
全体	46	100.0%	46	100.0%
在宅介護を受けながら暮らしたい（介護者：できるだけ長く自宅で暮らしてもらいたい）	14	30.4%	10	21.7%
在宅での暮らしが望ましいが、やむを得ず入所する（介護者：入所させる）しかない	20	43.5%	15	32.6%
在宅でなく、施設への入所が望ましい	8	17.4%	8	17.4%
本人が希望しているので入所させたい			2	4.3%
その他			2	4.3%
無回答	4	8.7%	9	19.6%

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（特別養護老人ホーム入所希望者調査・個別結果）

質問内容		アンケート調査名	
問. 特別養護老人ホームに入所申込みをした最も大きな理由は？ 【1つのみ回答】		特別養護老人ホーム入所希望者調査	
項目名	集計値	構成比	
全体	46	100.0%	
専門的な介護が受けられて安心だから	2	4.3%	
すぐには入所できないので、早めに申し込んでおきたいから	3	6.5%	
在宅では施設より金銭的な負担が大きいため	0	0.0%	
本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから	8	17.4%	
本人が入所を希望しているから	2	4.3%	
病院や施設を退院・退所する(予定)が、その後の住居が決まっていないから	1	2.2%	
住まいの環境上、在宅での介護が難しいから	1	2.2%	
家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等により介護することが厳しいから	12	26.1%	
家族等の介護者が仕事をしているから	2	4.3%	
同居者の中に乳幼児や病気等の方がいて、介護に負担がかかるから	0	0.0%	
その他	2	4.3%	
無回答	13	28.3%	

質問内容		アンケート調査名	
問. 特別養護老人ホームに入所申込みをした理由は？ 【複数回答】		特別養護老人ホーム入所希望者調査	
項目名	集計値	構成比	
全体	46	100.0%	
専門的な介護が受けられて安心だから	10	21.7%	
すぐには入所できないので、早めに申し込んでおきたいから	21	45.7%	
在宅では施設より金銭的な負担が大きいため	1	2.2%	
本人の身体状況が悪くなり、介護の必要性が大きくなったから	13	28.3%	
本人が入所を希望しているから	1	2.2%	
病院や施設を退院・退所する(予定)が、その後の住居が決まっていないから	4	8.7%	
住まいの環境上、在宅での介護が難しいから	9	19.6%	
家族等の介護者が高齢や病気、ストレス等により介護することが厳しいから	18	39.1%	
家族等の介護者が仕事をしているから	13	28.3%	
同居者の中に乳幼児や病気等の方がいて、介護に負担がかかるから	2	4.3%	
その他	2	4.3%	
無回答	12	26.1%	

(注)複数回答の場合、回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、各選択肢の割合の合計が100%を超過しています。

質問内容		アンケート調査名	
問. 特別養護老人ホームに入所したい時期は？ 【1つのみ回答】		特別養護老人ホーム入所希望者調査	
項目名	集計値	構成比	
全体	46	100.0%	
今すぐ入所したい	13	28.3%	
3か月～半年くらい先に入所したい	2	4.3%	
半年～1年先に入所したい	5	10.9%	
当面は入所しなくてよいが、必要になったときに入所したい	21	45.7%	
その他	2	4.3%	
無回答	3	6.5%	

**●ポイント6：日常生活の中で手助けしてほしいことの意向について**

日常生活の中で手助けしてほしいことについて伺ったところ、一般高齢者では、「特になし」や「無回答」が多数を占め、手助けをしてほしい高齢者は少数でした。手助けしてほしいこととしては、「簡単な力仕事」「病院への送迎」「玄関前や庭などの家周りの掃除」がありました。同様の質問に対し、介護保険サービス利用者では、「病院への送迎」が42.5%で最も多く、次いで「病院への付き添いや薬の受け取り」と「市役所などでの手続き」が31.8%、「洗濯や部屋の掃除」が30.8%、「簡単な力仕事」が29.0%という結果になりました。また、介護保険サービス未利用者では、「病院への送迎」が33.9%で最も多く、次いで「特になし」が26.8%、「買い物」が23.2%という結果になりました。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（個別結果）

質問内容	アンケート調査名					
	一般高齢者調査		介護保険サービス利用者調査		介護保険サービス未利用者調査	
	集計値	構成比	集計値	構成比	集計値	構成比
問. 日常生活の中で手助けしてほしいことはありますか？ 【複数回答】	588	100.0%	510	100.0%	56	100.0%
全体	588	100.0%	510	100.0%	56	100.0%
ごみ出し	15	2.6%	123	24.1%	8	14.3%
買い物	15	2.6%	147	28.8%	13	23.2%
調理	10	1.7%	116	22.7%	10	17.9%
洗濯や部屋の掃除	12	2.0%	157	30.8%	11	19.6%
玄関前や庭などの家周りの掃除	30	5.1%	137	26.9%	12	21.4%
簡単な力仕事	31	5.3%	148	29.0%	9	16.1%
病院への送迎	29	4.9%	217	42.5%	19	33.9%
病院への付添いや薬の受取	6	1.0%	162	31.8%	10	17.9%
病院以外の外出時の送迎	12	2.0%	114	22.4%	12	21.4%
病院以外の外出時の付添い	3	0.5%	89	17.5%	8	14.3%
声かけ・見守り	6	1.0%	97	19.0%	7	12.5%
日ごろの話し相手	15	2.6%	107	21.0%	8	14.3%
金銭管理・書類の確認	3	0.5%	56	11.0%	4	7.1%
市役所などでの手続き	12	2.0%	162	31.8%	7	12.5%
家電器具やパソコン等の操作	29	4.9%	58	11.4%	6	10.7%
代読・代筆	3	0.5%			2	3.6%
定期的な安否確認及び緊急時の対応			119	23.3%		
その他	6	1.0%	20	3.9%	0	0.0%
特になし	405	68.9%	53	10.4%	15	26.8%
無回答	71	12.1%	75	14.7%	10	17.9%

一般高齢者を対象に、お住まいの地域で他人の手助けや活動（ボランティアも含む）をしたいと思うか、意向を伺ったところ、「思わない」が60.2%、「思う」が32.3%という結果になりました。また、「思わない」と回答した方を対象に、理由を伺ったところ、「健康や体力に自信がないから」が33.1%で最も多く、次いで「人間関係が面倒に思えるから」が20.9%、「仕事、家事、介護などで忙しいから」が18.6%、「趣味や他団体での活動で忙しいから」が17.8%の結果となりました。さらに、「思う」と回答した方を対象に、その活動内容について伺ったところ、「声かけ・見守り」が50.5%で最も多く、次いで「日ごろの話し相手」が34.2%、「玄関前や庭などの家周りの掃除」が31.1%、「ごみ出し」が30.0%の結果となりました。

**●ポイント7：介護予防事業の参加経験と参加意向について**

一般高齢者を対象に、介護予防事業への参加の有無について伺ったところ、「参加したことがない」と回答された方の割合は、88.4%でした。また、この参加経験のない方を対象に、介護予防事業に参加しやすくなる条件について伺ったところ、「集会所等、歩いて行ける場所で開催されている」が35.0%で最も多く、次いで「自分に合った時間帯に参加できる」が24.0%、「保健センターや公民館等で定期的に事業が開催されている」が18.1%という結果になりました。なお、「市民による自主的な介護予防活動が定期的に開催されている」が4%であったため、今後、積極的な広報活動をしていくなかで、身近な地域で、介護予防事業へ気軽に参加できる仕組みづくりを推進していく必要があります。

さらに、介護予防事業に関して、参加したいと思う活動について、意向を伺ったところ、「足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う教室」が42.3%で最も多く、次いで「認知症を予防するための教室」が32.5%、「心の健康づくりのための教室」が22.1%という結果になりました。なお、「住民主体で介護予防に取り組むための認知症予防や体操等のグループづくりを目的とした教室」が9.4%、「介護予防ボランティアを養成するための教室」が4.4%であったため、今後は、こうした取組への参加を促していくように努めていく必要があります。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（一般高齢者調査・個別結果）

質問内容	アンケート調査名	
問. 介護予防事業への参加経験は？ 【1つのみ回答】	一般高齢者調査	
項目名	集計値	構成比
全体	588	100.0%
参加したことがある	51	8.7%
参加したことがない	520	88.4%
無回答	17	2.9%

質問内容	アンケート調査名	
問. 介護予防事業に参加しやすくなる条件は？【3つまでの複数回答】 (介護予防事業に参加経験がない方に対する質問)	一般高齢者調査	
項目名	集計値	構成比
全体	520	100.0%
集会所等、歩いて行ける場所で開催されている	182	35.0%
保健センターや公民館等で定期的に事業が開催されている	94	18.1%
特別養護老人ホーム等の施設で事業が開催されている	6	1.2%
プールやスポーツジムで事業が開催されている	48	9.2%
市民による自主的な介護予防活動が定期的に開催されている	21	4.0%
自分にあった時間帯に参加できる	125	24.0%
地域住民による声掛けや誘い合いがある	46	8.8%
参加者の体験談を聞ける機会がある	27	5.2%
教室の内容や効果がよくわかる説明資料がある	90	17.3%
市の歴史や文化、自然を活用した事業が開催されている	51	9.8%
往復の送迎がある	72	13.8%
その他	57	11.0%
無回答	106	20.4%

## 第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（一般高齢者調査・個別結果）

質問内容	アンケート調査名	
問. 介護予防事業に関して、参加したいと思う活動は？ <b>【複数回答】</b>	一般高齢者調査	
項目名	集計値	構成比
全体	588	100.0%
足腰の衰えなど筋力の低下を予防するための簡単な運動を行う教室	249	42.3%
寝たきりにつながりやすい骨折や転倒を予防するための教室	103	17.5%
認知症を予防するための教室	191	32.5%
心の健康づくりのための教室	130	22.1%
栄養状態の低下を防ぐことにより、健康的な体を維持するための教室	58	9.9%
簡単に調理できる工夫等を学べる教室	94	16.0%
飲み込む力をアップしたり、歯や歯ぐき等、口の中の健康管理を学ぶ教室	35	6.0%
介護予防全般について学ぶ教室	116	19.7%
住民主体で介護予防に取り組むための認知症予防や体操等のグループづくりを目的とした教室	55	9.4%
介護予防ボランティアを養成するための教室	26	4.4%
その他	52	8.8%
無回答	151	25.7%

(注)複数回答の場合、回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、各選択肢の割合の合計が100%を超過しています。



**●ポイント8：家族支援として望むこと**

介護保険サービス利用者、介護保険サービス未利用者、及び特別養護老人ホーム入所希望者の介護者の方を対象に、介護者支援として充実を望むことについて意向を伺ったところ、すべてにおいて、「介護保険サービスの充実」と回答された方の割合が高い結果となりました。次いで、「特別養護老人ホーム等の施設整備」、「保健福祉サービスの充実」の回答が多かったほか、「介護者がリフレッシュできるような機会」、「公的な機関などの個人的な相談機関」の回答が多い結果となりました。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（個別結果）

質問内容	アンケート調査名					
	介護保険サービス利用者調査 (介護者の意向)		介護保険サービス未利用者調査 (介護者の意向)		特別養護老人ホーム入所希望者調査 (介護者の意向)	
項目名	集計値	構成比	集計値	構成比	集計値	構成比
問. 家族介護者の方が、介護者支援として充実を望むこと？ 【複数回答】						
全体	510	100.0%	56	100.0%	46	100.0%
介護者の会などの介護者同士の交流の場	45	8.8%	0	0.0%	3	6.5%
公的な機関などの個人的な相談機関	67	13.1%	7	12.5%	5	10.9%
介護教室などの介護技術が学べる機会	41	8.0%	3	5.4%	3	6.5%
介護者がリフレッシュできるような機会	87	17.1%	7	12.5%	11	23.9%
地域の方が認知症に学び、理解を深めるための認知症サポーターの養成講座	31	6.1%	1	1.8%	2	4.3%
隣近所の助け合いボランティア活動の支援	46	9.0%	2	3.6%	2	4.3%
保健福祉サービスの充実	100	19.6%	14	25.0%	17	37.0%
介護保険サービスの充実	159	31.2%	21	37.5%	23	50.0%
特別養護老人ホーム等の施設整備	142	27.8%	10	17.9%	22	47.8%
その他	13	2.5%	0	0.0%	2	4.3%
無回答	218	42.7%	28	50.0%	8	17.4%

(注)複数回答の場合、回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、各選択肢の割合の合計が100%を超過しています。

**●ポイント9：介護の負担や悩みを感じるときは**

介護保険サービス利用者、及び介護保険サービス未利用者の介護者の方を対象に、介護者の方が、介護の負担や悩みを感じることにについて意向を伺ったところ、介護保険サービス利用者では「自分が急病・急用時に、代わってくれる人がいない」が28.4%で最も多く、次いで、「介護をすることが体力的に難しい」13.5%、「どんな福祉サービスが受けられるのかわからない」10.0%の順となりました。

次に、介護保険サービス未利用者では、「介護をすることが体力的に難しい」と「自分が急病・急用時に、代わってくれる人がいない」が共に、42.9%で最も多い結果となりました。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（個別結果）

質問内容	アンケート調査名			
	介護保険サービス利用者調査 (介護者の意向)		介護保険サービス未利用者調査 (介護者の意向)	
項目名	集計値	構成比	集計値	構成比
問. 介護をしている方が介護の負担や悩みを感じることは？ 【複数回答】				
全体	510	100.0%	28	100.0%
体位の交換、トイレの誘導など、介護のやり方にあまり自信がない	38	7.5%	2	7.1%
介護をすることが、体力的に難しい	69	13.5%	12	42.9%
介護を受けている方との体格の差があるために、介護が難しい	20	3.9%	3	10.7%
24時間目が離せないため、睡眠不足が続いている	26	5.1%	2	7.1%
介護を受けている方に対して、どう接してよいかわからなくなる	39	7.6%	6	21.4%
介護の大変さを理解し、介護に協力してくれる人が周囲にいない	31	6.1%	2	7.1%
自分が急病・急用時に、代わってくれる人がいない	145	28.4%	12	42.9%
介護のため就業・家事・子育て等、自分の時間が持てない	45	8.8%	5	17.9%
介護保険のサービスが十分でない	20	3.9%	4	14.3%
どんな福祉サービスが受けられるのかわからない	51	10.0%	6	21.4%
経済的な負担が大きい	46	9.0%	6	21.4%
その他	37	7.3%	1	3.6%
無回答	239	46.9%	0	0.0%

(注)複数回答の場合、回答者数を分母として割合(%)を計算しているため、各選択肢の割合の合計が100%を超過しています。

**●ポイント10：介護保険制度で重点的に取り組むこと**

一般高齢者、及び介護保険サービス利用者を対象に、介護保険制度にかかわる施策で重点的に取り組んでほしいものは何か、意向を伺ったところ、一般高齢者では、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が37.4%で最も多く、次いで、「介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実」が34.9%、「低所得者への負担軽減対策」が22.4%という結果になりました。

次に、介護保険サービス利用者では、「家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実」が32.4%で最も多く、次いで、「介護保険サービスの量や質の充実」が23.9%、「低所得者への負担軽減対策」が23.5%という結果になりました。

第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画策定のための調査（個別結果）

質問内容	アンケート調査名			
	一般高齢者調査		介護保険サービス利用者調査	
問. 介護保険制度にかかわる施策で重点的に取り組んでほしいものは何か？ 【3つまでの複数回答】				
項目名	集計値	構成比	集計値	構成比
全体	588	100.0%	510	100.0%
介護保険制度のしくみや利用方法に関する情報提供の充実	205	34.9%	89	17.5%
介護支援専門員（ケアマネジャー）やサービス提供事業者に関する情報提供の充実	102	17.3%	58	11.4%
苦情・相談窓口の充実	31	5.3%	24	4.7%
介護専門職の資質の向上支援	79	13.4%	53	10.4%
認知症高齢者などの権利を守るための制度の充実	29	4.9%	22	4.3%
低所得者への負担軽減対策	132	22.4%	120	23.5%
介護予防や要介護度の進行防止のための介護予防事業の充実	68	11.6%	92	18.0%
家族の介護負担を軽減するための施策・事業の充実	220	37.4%	165	32.4%
介護保険サービスの量や質の充実	106	18.0%	122	23.9%
保健・医療・福祉機関との連携・協力	113	19.2%	103	20.2%
その他	7	1.2%	12	2.4%
特になし	49	8.3%	55	10.8%
無回答	97	16.5%	86	16.9%

（注）複数回答の場合、回答者数を分母として割合（%）を計算しているため、各選択肢の割合の合計が100%を超過しています。



## 第3章 基本理念

### 1. 計画の基本的な考え方

#### 1) 計画の基本理念

この計画の基本理念を

**「みんなで支え合い、  
よろこびが生まれる都市・佐倉」**

とします。

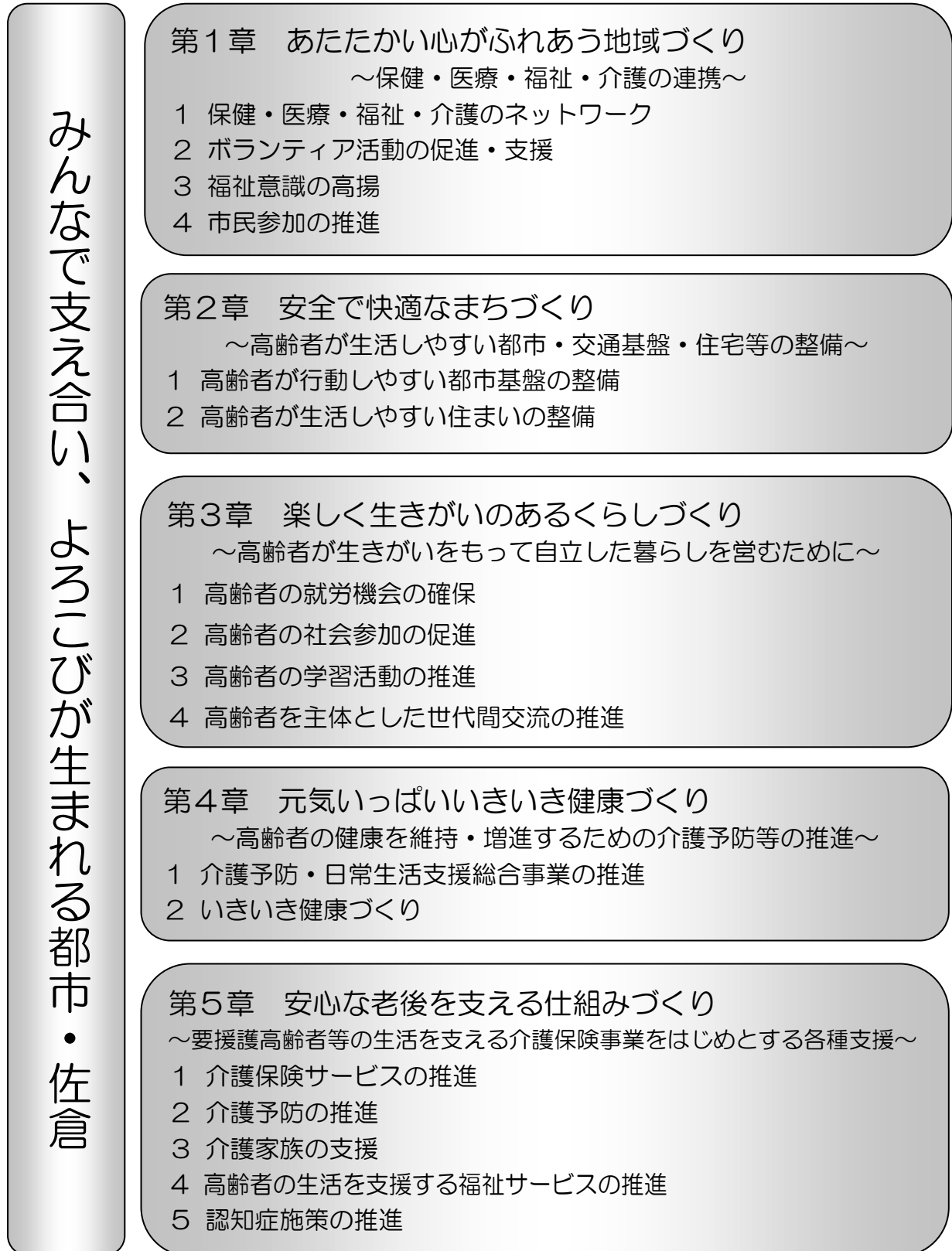
これは、市民と市民、市民と行政が支え合うことを基本に、市民一人ひとりの生活からまちづくりに至る、佐倉市の総合的な高齢者福祉・介護保険施策を推進する姿勢をあらわすものです。

みんなで支え合う都市を実現するため、とりわけ「高齢者の尊厳の尊重」、「高齢者の虐待防止」及び「高齢者の権利擁護」について十分配慮し、積極的に取り組んでいきます。

## 2) 高齢者施策の体系

高齢者が、住み慣れた地域でいきいきと暮らしていけるように、佐倉市では高齢者施策を以下の図のような体系で進めていきます。

図 1-3-1 高齢者施策の体系



### 3) 計画の重点施策

佐倉市では、国が推進する「地域包括ケアシステム」を構築するために必要な事項や、今後の佐倉市を見据える中で、取り組んでいかなければならないもの、また、実態調査（アンケート調査）から明らかになった意見や要望等を踏まえ、第6期佐倉市高齢者福祉・介護計画に取り込む重点施策として以下の5項目を掲げます。

#### ●重点施策1：在宅医療・介護連携の推進

☞ 住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、医療と介護サービスを一体的に提供するため、医療と介護の連携を強化します。

#### ●重点施策2：認知症施策の推進

☞ 認知症になっても住み慣れた地域で生活を継続するためには、医療、介護及び生活支援を行うサービスが有機的に連携したネットワークを形成し、認知症の人への効果的な支援を行うことが重要です。

#### ●重点施策3：介護予防・日常生活支援総合事業の推進

☞ 住民運営の通いの場の充実とリハビリテーション専門職等を生かした自立支援に資する取組を推進します。

☞ 地域の実情に応じて、住民等の多様な主体が参画し、多様なサービスを充実することで、地域の支え合い体制づくりを推進し、要支援者等に対する効果的かつ効率的な支援等を行う必要があります。

#### ●重点施策4：高齢者が生活しやすい住まいの整備

☞ 生活の基盤として必要な住まいが整備され、本人の希望にかなった住まいが確保されていることが地域包括ケアシステムの前提となることから、地域において、適切に供給される環境を確保する必要があります。

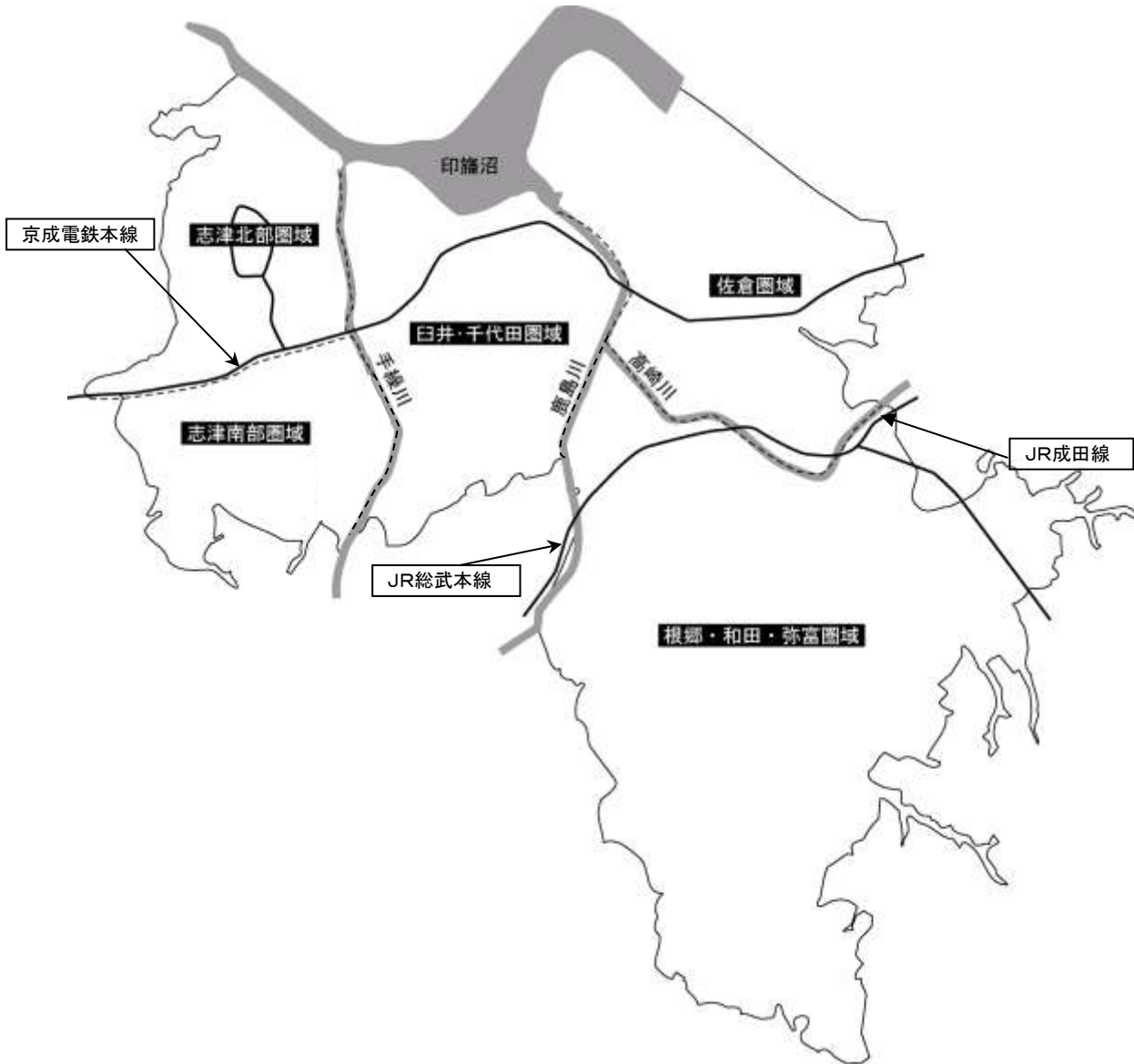
#### ●重点施策5：在宅福祉サービスの維持・充実

☞ 高齢化の進行による要介護者の増加に伴い、在宅での家族介護も増えることから、介護の不安や孤立感を抱える在宅介護者に対する支援を充実する必要があります。また、介護保険に該当しない在宅サービスを維持・充実する必要があります。

## 2. 日常生活圏域の設定

第5期計画に引き続き、今期計画でも佐倉市を5つの日常生活圏域に分け、介護施設等の配置・整備を行い、高齢者が住み慣れた地域でいきいきと暮らしていただけるよう、ネットワークの形成を行います。

図 1-3-2 日常生活圏域図



### 【佐倉市における日常生活圏域設定のポイント】

- 旧町村をベースにした既存コミュニティの形成
- 既存の介護施設等の整備状況と新規の介護施設等の配置・整備
- 各圏域の高齢者人口のバランス
- 身近な地域で福祉サービスを楽しむ範囲



◆日常生活圏域の高齢者人口の状況

平成26年3月末現在の住民基本台帳に基づく高齢者の状況を日常生活圏域別に見ると、佐倉圏域の高齢化率が最も高く29.9%に、根郷・和田・弥富圏域の高齢化率が最も低く23.6%となっています。また、図1-3-3の各グラフで示すように、各圏域とも高齢化率は上昇しています。

図1-3-3 住民基本台帳に基づく圏域別データ・各年3月末現在

